

2012年4月吉日

新製品のご案内

ワイヤレスプレゼンテーションツール (ワイヤレス書画カメラ/受信機)

Visual Presenter **MO-1w/VPR-1**

セット定価:80,850円(税込)

[ビジュアル プレゼンター エムオーワン・ダブルユー]

2012年5月上旬 発売

株式会社エルモ社(本社:名古屋市瑞穂区明前町6-14 代表取締役社長:林 数馬)は、平成24年5月上旬に会議やプレゼンテーション、学校での毎日の授業に便利な書画カメラの新製品「Visual Presenter※1MO-1w/VPR-1(受信機)」を発売いたします。

Visual Presenter MO-1wは、先に発売のモバイル書画カメラMO-1の姉妹製品でワイヤレスシステム搭載モデルです。セット販売の受信機VPR-1との併用により面倒な機器間の配線が不要となり会議室や教室内の配線工事のコスト削減と自由なプレゼンテーション機器のレイアウトを実現します。ワイヤレスシステムにはWHDI方式を採用。Full HD映像を30fpsのフル動画で音声と共にワイヤレス伝送することが可能です。

また、MO-1wはアナログRGBとHDMI入力端子を装備。PCやスマートフォン、その他の情報・映像機器をMO-1wに接続することが可能です。学校の授業や会議において、MO-1wで教科書や生徒のノート、図面、契約書を大きく写し、時にPCの画面へ切替えて説明、時にDVDなど動画コンテンツを再生する等々多彩なメディアを簡単に使い分けてプレゼンテーションすることができます。



*2:MO-1wへRGB入力の場合、音声信号は出力しません。

先生の便利な道具としての“書画カメラ”

世界中で教育のICT(*)化が進む中、書画カメラを使うことで子供たちに「わかりやすい授業」を行えるという世界中の先生方からの多くのご支持により、学校での書画カメラ活用が進んでいます。日本では小中学校の普通教室数の30%弱(延べ112千台)まで普及、プロジェクターや電子黒板を凌ぐ導入台数となっています。(文科省「学校における教育の情報化の実態調査」2011.8.31公表より推計)

ビジネスプレゼンテーション機器としての“書画カメラ”

「書類や小さなモノ、手元の操作を大きく映し出す。」書画カメラのこのシンプルな機能性が、プレゼンテーションや会議の場においても内容の説得力と参加者の理解度を高めます。ローフォームでの契約書内容の検討、不具合小型部品の検証会議、各種タブレット端末やスマートフォンのデモンストレーション等々、書画カメラのプレゼンテーション機器としての用途は広がりを見せています。新コンセプト書画カメラ Visual Presenter MO-1wは、書画カメラ本来の機能性にモバイル性とワイヤレス性が加わり、場所を選ばずビジネスパーソンの Visual コミュニケーションをサポートします。

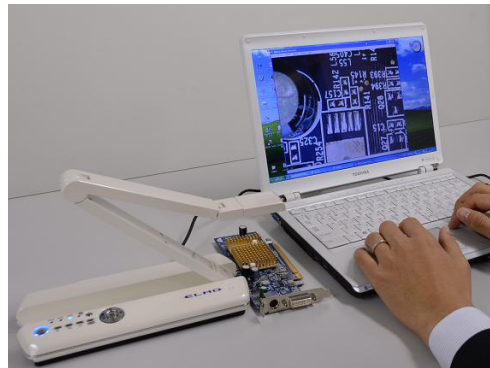
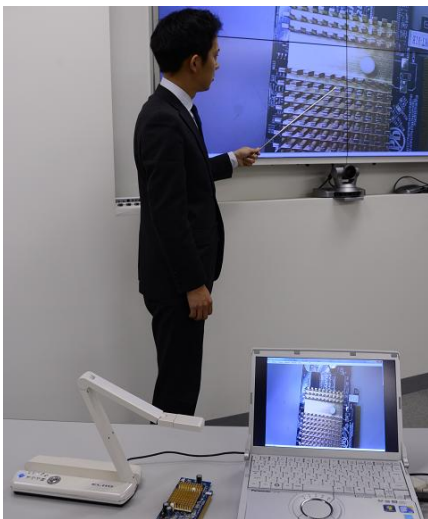
Visual Presenter MO-1w の特長

- フルハイビジョン 1080i / 30fps 対応。WHDI ワイヤレスシステム搭載し遅延なく Full HD 30fps 動画と音声を転送。
- カメラヘッド折り畳み式デザインを採用。厚さ 28mm、重量 590g という高いモバイル性。
- 500 万画素 CMOS センサ、8 倍デジタルズームを搭載。被写体の細部を鮮明に撮影可能。
- HDMI、アナログ RGB(D-sub)外部入力端子を装備。外部機器の映像への切り替えとワイヤレス伝送が可能。
- 可動式アームと回転カメラヘッドで、あらゆる角度からの安定した被写体撮影が可能。
- MO-1w で写した映像を SD カードへ静止画保存が可能。
- パソコンとの親和性強化。(USB 接続により電源供給可能) アプリケーションソフトウェア Image Mate をパソコンにインストールすれば、より多彩なプレゼンテーションや映像表現が可能になります。



映像出力: WHDI ワイヤレス [受信機 VPR-1 併用]
外部映像入力端子: RGB ミニ D-sub 15P / 標準 HDMI タイプ A
USB : 2.0 High Speed、Full Speed/VIDEO CLASS Ver1.1 準拠
SDカードスロット×1

【用途イメージ】



↑ web ビデオ会議にて、参加者の顔や 実物資料を映す ↑

← いつでもどこでも、実物によるプレゼンテーションが可能

【書画カメラ（実物投影機）とは】

書画カメラとは、書類や立体物をデジタルテレビやプロジェクタで投影するための映像入力機器(カメラ)で、ズーム付きレンズの搭載により映像の拡大縮小が自在にできます。教育市場では「実物投影機」「資料提示装置」とも呼ばれています。

近年、授業に便利で児童の理解度向上に役立つ、効果的な ICT(*)機器のひとつとして小・中学校への普及が進んでいます。文部科学省の新学習指導要領準拠「教育の情報化に関する手引」においても、「教科指導における ICT 活用—学校における ICT 環境整備」項目の中で、普通教室における ICT 環境の整備機器として実物投影機(書画カメラ)が明記されており、当該製品の情報教育への活用が推奨されています。

(*)ICT とは、Information(情報)&Communication(コミュニケーション)Technology(技術)の略語です。授業で活用する ICT 機器には、書画カメラの他、パソコン、プロジェクタ、電子黒板等があります。

※Visual Presenter,Image Mate,ELMO のロゴは㈱エルモ社の登録商標または商標です。

その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。

本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性が有る旨予めご了承ください。

この件に関するお問合せ先

株式会社エルモ社 マーケティング本部

電話: 052-811-5241 FAX: 052-824-4400 住所: 名古屋市瑞穂区明前町 6-14

e-mail: ict@elmo.co.jp / homepage: <http://www.elmo.co.jp/> , <http://www.elmoglobal.com/>